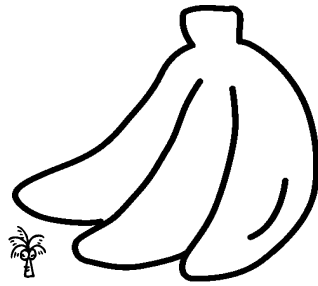


# ばななだより

草笛学園 2025年度 最終号



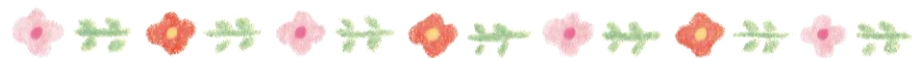
## 1年間ありがとうございました

4月から始まったばなな教室では、子どもたちの“楽しい”“やってみよう”という気持ちを引き出せるように、一年間取り組んできました。ふり返ってみて、皆さんどうでしたか？

我が子の発達に不安があったり、落ち着きがなく、集団参加が苦手だったりする子たちが大好きな保護者の方と一緒に楽しい遊びや活動を通して、手応えや意欲を感じたり、得意なことでも力を発揮し、みんなに認められたり、自分のよさを感じたりすることを大切にしてきました。

保護者の皆さまとは、親子で活動することを通して、どのようにお子様と向き合ったらよいのか、気になる行動の中にある理由を一緒に考えていきましたね。また、懇談では、共通の悩みを持つ保護者同士、日々の子育ての中での悩みや思いを出し合いながら、支え合える仲間作りの場になればと考えていましたが、不十分な所もあり、すみません。

来年度、外来教室を継続される方は、『さくらんぼ教室』です。子どもたちは、保育所・幼稚園で一番お兄ちゃん・お姉ちゃん存在である「年長さん」のかっこいい姿を今まで沢山見て、憧れの気持ちをいっぱい膨らませて過ごしてきました。4月から、いよいよ僕、私たちがその年長さんです！大きくなった自分をいっぱい感じて欲しいと思っています。来年度は、就学の情報提供や就学先についても一緒に考えていく場にもなります。引き続き、よろしく願いいたします。



## 「中くらい」の発見

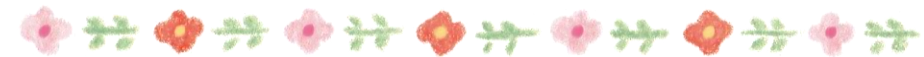
4歳児は、ことばが「聞き取られている」やさしい雰囲気の中かで、ことばを探し、つないで、「すじ道」をつくって話すようになっていきます。口から出ることば（外言）ではなく、心のなかで自分とお話するようなことば（内言）も生まれてきます。

そのちからがいっそう確かなるの、5歳児、つまり保育所・幼稚園の年長組になってからでしょう。それが、「すじ道だてて考え表現するちから」です。

「きのう・きょう・あした」「去年・今年・来年」、そして「遠いところ・近いところ・中くらいのところ」などという、時間や空間の流れを説明することばも、このころから使えるようになります。3、4歳児は「大きいー小さい」などの「比べるちから」で世界を理解していたのが、そこにもう一つが加わって、「大」「小」「中」という三つの単位で理解できるようになります。だから、「赤と白を混ぜたらピンクになる」と言いながら水彩絵具を使うことが楽しくなったり、きれいな夕焼けや雨上がりの虹の色彩の美しさに魅入るようになります。「話しことば」が誕生する生後10か月ころは、命あるものへのセンサー、「書きことば」が誕生する5歳児は、自然のなかにある不思議さへのセンサーがはたらきはじめるのです。

「お父さんとお母さんと、どっちが好き？」などと訊ねられたとき、4歳ならば「お母さん」などと正直に、あるいは裏を返すように答えるのですが、5歳児になったら、「それはむずかしい質問だと思うよ」などと言うのです。単なる対比では表現できない心の世界があることを意識し、それゆえに周囲への配慮もみせるようになります。

『発達を学ぶちいさな本』 著・白石正久



## 〜〜 3月のばなな教室 〜

ばなな① 3月5日（木） 13:00~15:00

活動内容『ころがしドッジボール』

持ち物：水筒、シューズ

※保護者の方も動きやすい服装でおこしく下さい

ばなな② 3月の開催はありません



## 〜〜 来年度も外来教室を継続されるみなさんへ〜〜

来年度の外来教室は、『さくらんぼ教室』になります！

さくらんぼ教室①：第2木曜日 【13:00~15:00】

さくらんぼ教室②：第4木曜日 【13:00~15:00】

※3月下旬に、各ご家庭に日程や時間などの詳しい案内を郵送いたします。

必ずご確認のうえ、ご参加ください。質問等ありましたら、

草笛学園（972-3950）までお問い合わせください

